

兵庫県下の経済動向

平成25年8月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、下げ止まりの動きが広がりつつある。輸出は持ち直しているほか、生産は業種別のばらつきを伴いつつ、下げ止まりの動きが見られる。公共投資は増加している。また、雇用・所得環境は改善に向かう動きがみられつつあるほか、個人消費は持ち直しに向けた動きが広がっている。一方、設備投資は弱めとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が2か月ぶりに前年を下回った。

乗用車販売は、普通貨物車およびバスが増加したものの、小型乗用車、普通乗用車および小型貨物車が減少し全体では3か月連続で前年を下回った。家電販売は、スマートフォン等が引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、製造業および非製造業ともに減少を見込んでおり、25年度も減少計画となっている。

住宅投資は、持家、貸家、分譲が増加したことから、2か月連続前年を上回った。

公共工事請負金額は、国、独立行政法人等、神戸市、兵庫県、その他団体すべてが増加したことから、2か月連続に前年を上回った。基調としては増加している。

貿易は、輸出は中国を含むアジア、米国およびEU向けが増加し、4か月連続で前年を上回った。また、輸入については6か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、3か月連ぶりに前年を下回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月から上昇し、新規求人数は前年を上回った。

また、一人当たり名目賃金、所定外労働時間および常用労働者数は前年を上回った。

金融情勢は、預金は前年を上回って推移しており、貸出は前年並みの水準で推移している。

企業倒産は、件数、負債金額ともに前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

5月の兵庫DIは、先行指数71.4%、一致指数66.7%、遅行指数62.5%となった。

5月の兵庫CIは、先行指数91.4、一致指数92.8、遅行指数100.1となった。

兵庫DIは、先行指数が2か月連続で50%を上回り、一致指数が3か月連続50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数は4か月ぶりに前月差減、一致指数は2か月連続で前月差増、遅行指数は2か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は基調判断を「一致指数は下げ止まりを示している。」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

6月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は89.2、前月比1.1%増加。出荷指数は89.3、同2.5%増加。在庫指数は126.7、同0.2%増加。在庫率は160.8、同18.8%増加。生産指数は3か月ぶりに上昇、出荷指数は5か月連続で上昇、在庫指数は4か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が6.1%減で15か月連続、出荷は4.8%減と17か月連続で低下した。また在庫は2.4%減と6か月連続で低下した。

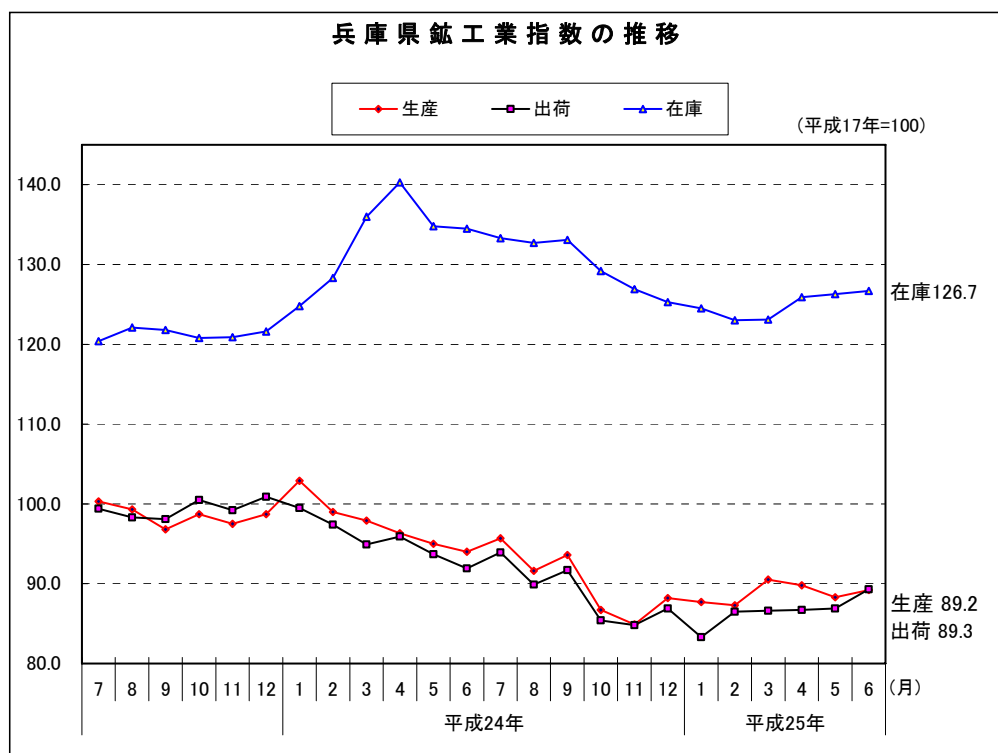
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、ショベル系掘削機械の「一般機械工業」が18.8%、舶要ディーゼル機関等の「輸送機械工業」が4.7%、電解効果型トランジスタ等の「電子部品・デバイス工業」が3.7%、テレメータ・テレコントロール等の「情報通信機械工業」が1.7%各々上昇し、大中小形鋼等の「鉄鋼業」が14.4%、PC鋼より線等の「金属製品工業」が5.9%、一般用上記タービン等の「電気機械工業」が4.5%、めん類等の「食料品工業」が2.2%、石油化学品製造業用触媒の「化学工業」が2.0%各々低下した。

県統計課は、基調判断を「下げ止まっており、一部に持ち直しの動きが見られる」とした。

6月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減 (%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減 (%)
生 産	89.2	1.1	91.9	▲ 6.1
出 荷	89.3	2.5	88.8	▲ 4.8
在 庫	126.7	0.2	127.5	▲ 5.0
在 庫 率	160.8	18.8	144.1	▲ 2.4

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



6月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	87.1	▲ 14.4	上昇	大中小形鋼、ブリキ、鍛鋼品、鋳鋼品
			低下	普通鋼鋼帯、鋼半製品、粗鋼、特殊鋼熱間圧延鋼材
金属製品	76.2	▲ 5.9	上昇	PC鋼より線、うす板ばね、鋼管製管継手、ばね座金
			低下	ガス温風暖房機、ガス風呂がま、鋼索、粉末や金製機械材料
一般機械	92.8	18.8	上昇	一般用蒸気タービン、反作用機器、数値制御旋盤、水管ボイラ
			低下	はん用内燃機関、マシニングセンタ、C(W)B工具、圧縮機
電気機械	128.1	▲ 4.9	上昇	一般タービン発電機、電力変換装置、リチウム電池、一般用エンジン発電機
			低下	開閉制御装置、リチウムイオン蓄電池、非標準油入り変圧器、内燃機関電装品
情報通信 機械	78.2	1.7	上昇	テレメータ・テレコントロール、レーダ装置、搬送装置、無線位置測定装置
			低下	カーナビゲーション、携帯電話、パーソナルコンピュータ、カーオーディオ
電子部品 デバイス	73.7	3.7	上昇	電界効果型トランジスタ、アクティブ型液晶素子、シリコントランジスタ、モス型半導体集積回路
			低下	線形半導体集積回路、アクティブ型液晶素子、シリコンウエハ、トランス(コイル含む)
輸送機械	71.0	4.7	上昇	船用ディーゼル機関、旅客車、特装ボデー、二輪自動車
			低下	二輪自動車、駆動伝導・操縦装置部品、ショベルトラック、二輪自動車部品
化 学	79.8	▲ 2.0	上昇	石油化学品製造用触媒、自動車排気ガス浄化用触媒、塩化ビニル樹脂、溶剤系合成樹脂塗料
			低下	酢酸、化粧品、純ベンゼン、酸素
食 料 品	98.3	▲ 2.2	上昇	めん類、精米、乳飲料、配合飼料
			低下	清酒、ビール類、砂糖、しょうゆ

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた7月の県内百貨店売上高は、前年同月比7.7%減の187億71百万円で、2か月ぶりに減少した。セール時期を6月末に前倒しした反動や、近隣に開業した大型商業施設の影響などで売り上げを落とした。

神戸地区は7.8%減。各店とも昨年は7月1日にセールを、今年は6月末に早めたため、7月分の売り上げが落ちた。

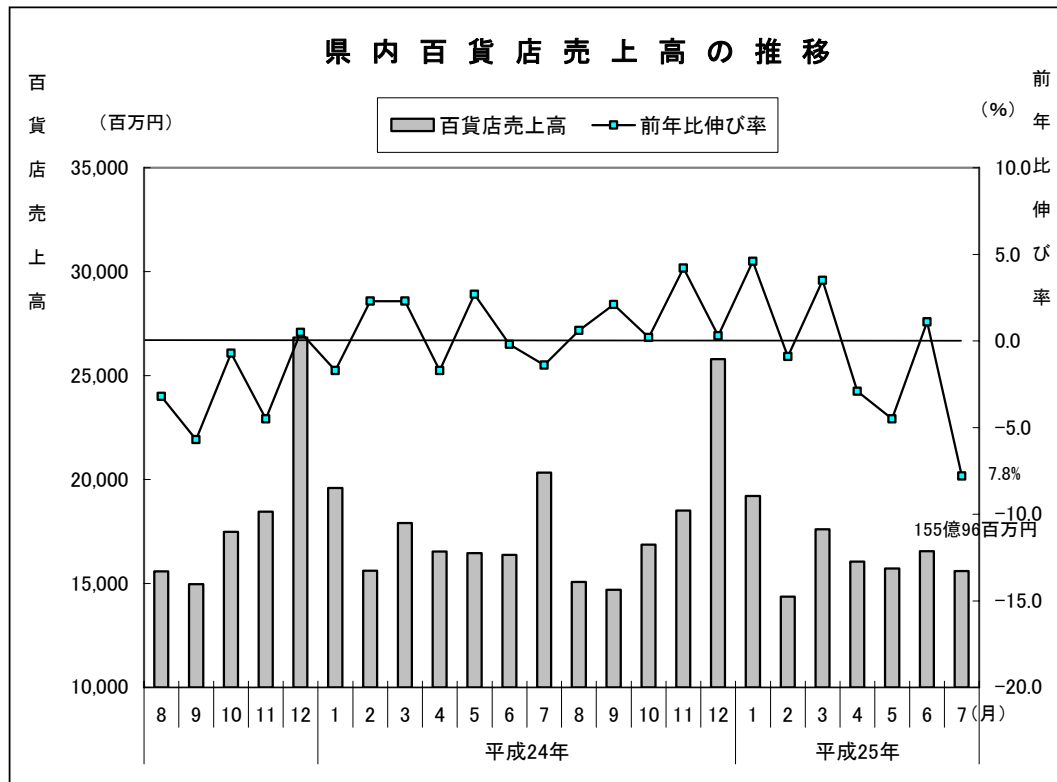
姫路・加古川地区は6.9%減。山陽百貨店は「ピオレ姫路の影響で、若者向けの婦人服や雑貨が厳しかった」とした。

5月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	697(▲10.7)	157(▲14.6)	854(▲11.5)
婦人服・洋品	4,229(▲12.0)	682(▲13.0)	4,911(▲12.1)
子供服・洋品	290(▲24.2)	87(▲14.9)	378(▲22.3)
身の回り品	1,485(▲11.7)	287(▲8.2)	1,772(▲11.2)
家庭用品	629(▲3.5)	135(▲11.9)	764(▲5.1)
食料品	5,272(▲5.6)	1,171(0.5)	6,444(▲4.6)
雑貨	2,220(0.0)	334(▲10.6)	2,554(▲1.5)
その他	772(▲5.1)	317(▲4.3)	1,089(▲4.9)
計	15,596(▲7.8)	3,174(▲6.9)	18,771(▲7.7)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内7月の乗用車新車登録台数は15,195台、前年同月比7.3%減と2か月連続で前年同月の実績を下回った。

7月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は5,268台(前年同月比8.4%減)、小型乗用車は4,603台(同12.8%減)、軽乗用車は5,324台(同5.2%増)、乗用車合計で15,195台(同7.3%減)となった。

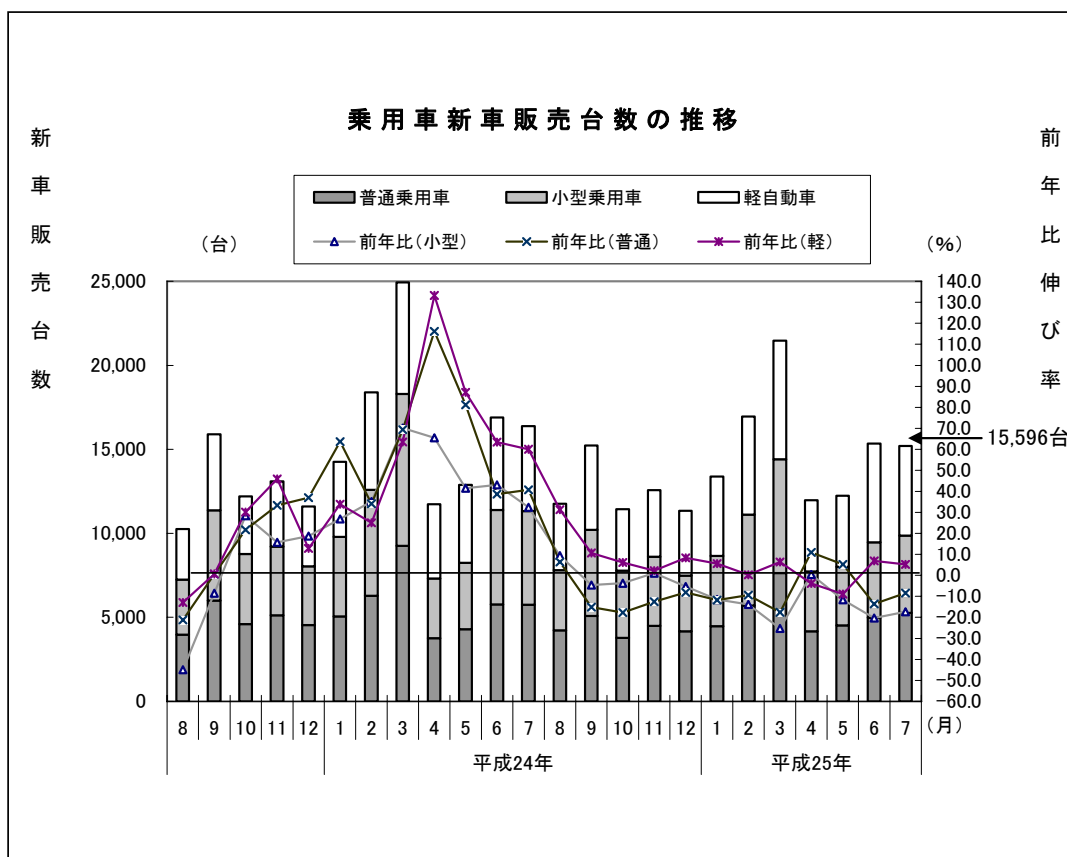
また貨物車等では、普通貨物車は280台(同40.0%増)、小型貨物車は666台(同6.3%減)、軽貨物車は1,261台(同7.0%増)、バスは32台(同77.8%増)となった。

7月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,268	▲ 8.4	119,569	▲ 10.9
小型乗用車	4,603	▲ 17.3	130,330	▲ 19.3
軽乗用車	5,324	▲ 12.8	152,038	1.6
乗用車合計	15,195	▲ 7.3	401,937	▲ 9.7
普通貨物車	280	40.0	11,814	14.9
小型貨物車	666	▲ 6.3	21,702	▲ 0.9
軽貨物車	1,261	7.0	35,756	2.4
貨物車合計	2,207	5.6	69,272	3.2
バス	32	77.8	899	14.2
登録車総計	17,434	▲ 5.7	472,108	▲ 8.0

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が8月13日に発表した機械受注統計によると、平成25年6月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、25年5月前月比12.0%増の後、25年6月は同14.3%減の1兆9,443億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、5月前月比10.5%増の後、6月は同2.7%減の7,774億円となった。

内訳をみると、製造業が同2.4%増の3,042億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同17.5%減の4,623億円であった。

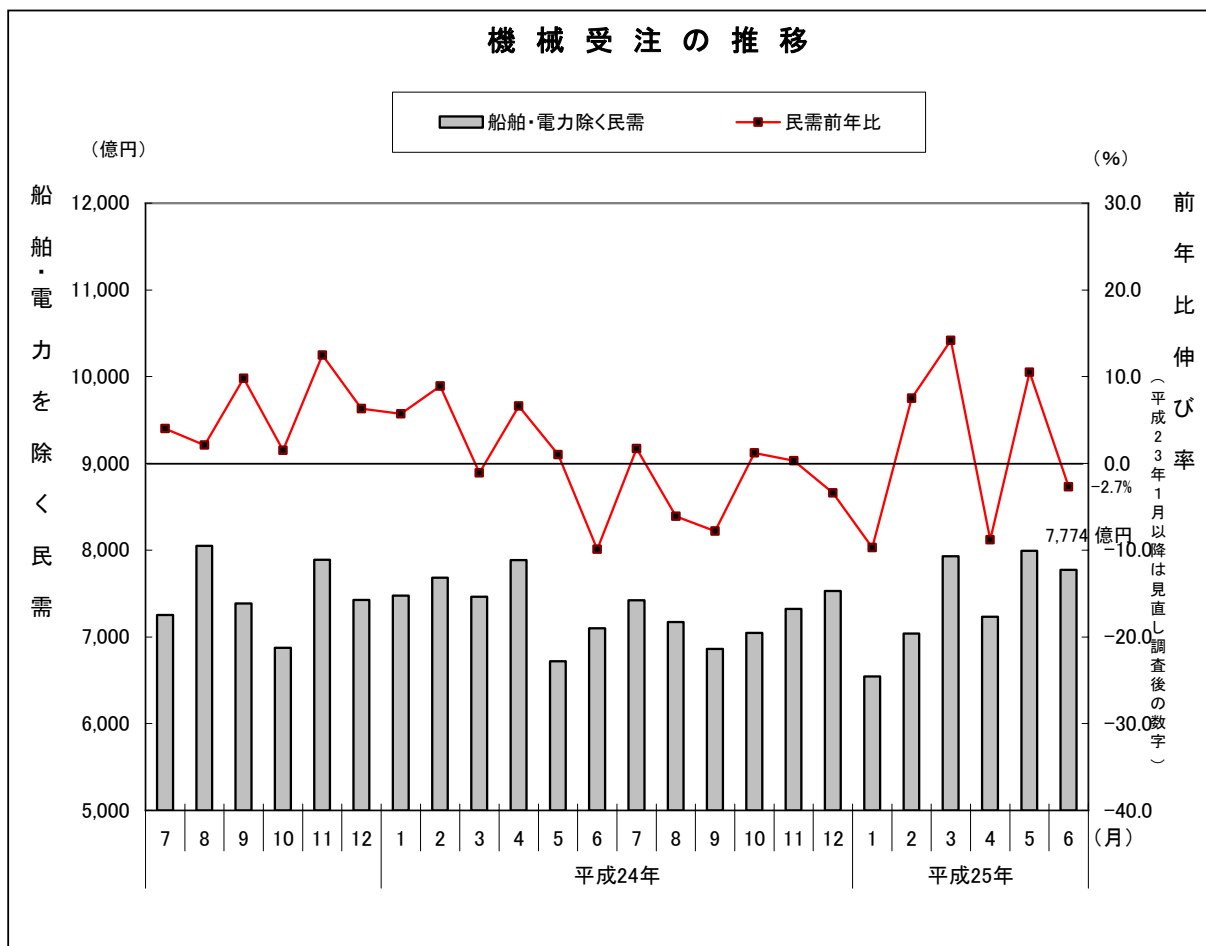
製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、造船業(78.7%増)、その他輸送用機械(58.8%増)、電気機械(39.8%増)、精密機械(32.0%増)、非鉄金属(23.3%増)等の8業種で、パルプ・紙・紙加工品(67.3%減)、化学工業(36.1%減)、鉄鋼業(27.0%減)、金属製品(12.5%減)、一般機械(9.5%減)等の7業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、電力業(35.85%増)、鉱業・採石業・砂利採取業(23.5%増)、不動産業(17.9%増)等の4業種で、金融業・保険業(53.6%減)、リース業(43.8%減)、運輸業・郵便業(36.4%減)等の8業種は減少となった。

兵庫県下においては、2013年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2013年6月 ——兵庫県——

設備投資計画：全産業前年度比+2.1%（製造業+0.4%、非製造業9.2%）



機械受注統計 (平成25年6月分)

	24年 7~9月 実績	10~12月 実績	25年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 見通し	25年 3月 実績	4月 実績	5月 実績	6月 実績
受注総額	54,382 (-8.4) [-8.3]	56,379 (3.7) [-9.7]	60,410 (7.1) [-5.3]	62,406 (3.3) [4.7]	58,820 (-5.7) [8.0]	23,618 (27.8) [11.5]	20,267 (-14.2) [-4.3]	22,696 (12.0) [18.1]	19,443 (-14.3) [2.7]
民需	25,526 (-2.2) [-7.1]	25,341 (-0.7) [-5.6]	25,477 (0.5) [-2.0]	26,754 (5.0) [2.5]	24,699 (-7.7) [-3.8]	9,598 (22.3) [8.3]	8,411 (-12.4) [-10.5]	9,455 (12.4) [15.5]	8,888 (-6.0) [4.8]
〃 (Ex 船・電)	21,715 (-1.3) [-4.6]	21,546 (-0.8) [-0.8]	21,539 (-0.0) [-4.6]	22,999 (6.8) [6.4]	21,772 (-5.3) [0.1]	7,931 (14.2) [2.4]	7,233 (-8.8) [-1.1]	7,992 (10.5) [16.5]	7,774 (-2.7) [4.9]
製造業	9,031 (-1.3) [-9.5]	8,550 (-5.3) [-11.1]	8,407 (-1.7) [-12.1]	8,875 (5.6) [-4.2]	8,525 (-3.9) [-3.5]	3,087 (13.3) [-3.9]	2,862 (-7.3) [-9.8]	2,971 (3.8) [-6.2]	3,042 (2.4) [2.4]
非製造業 (Ex 船・電)	12,772 (-0.3) [-1.3]	13,491 (5.6) [7.4]	13,072 (-3.1) [2.8]	14,701 (12.5) [14.1]	13,580 (-7.6) [4.6]	4,759 (14.3) [9.8]	4,472 (-6.0) [4.8]	5,607 (25.4) [34.3]	4,623 (-17.5) [6.6]
官公需	7,202 (-6.3) [18.1]	6,942 (-3.6) [-1.5]	6,949 (0.1) [-6.9]	8,668 (24.7) [7.4]	8,595 (-0.8) [-17.1]	2,651 (15.2) [-5.9]	2,485 (-6.3) [-8.0]	3,599 (44.8) [51.1]	2,584 (-28.2) [0.7]
外需	20,593 (-10.5) [-18.0]	21,246 (3.2) [-16.5]	23,670 (11.4) [-8.8]	24,837 (4.9) [7.8]	22,437 (-9.7) [18.9]	10,254 (52.1) [27.5]	8,217 (-19.9) [6.7]	9,066 (10.3) [-4.3]	7,553 (-16.7) [0.1]
代理店	2,720 (-1.4) [11.7]	2,648 (-2.6) [-1.8]	3,000 (13.3) [4.2]	2,643 (-11.9) [-4.1]	2,945 (11.4) [9.3]	1,209 (35.2) [11.3]	748 (-38.2) [-16.6]	918 (22.7) [-1.6]	978 (6.6) [5.3]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内6月の新設住宅着工戸数は、総数で2,939戸(前年同月比4.1%減)となり、持家、分譲住宅が増加したが、貸家、給与住宅は減少し全体では2か月ぶりに前年を下回った。また、前月比では307戸の増加となった。

6月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	1,028	6.6	30,699	13.8
・分譲住宅	953	3.0	22,029	24.3
貸家系・貸家	940	▲ 16.4	30,504	13.1
・給与住宅	18	▲ 65.4	472	▲ 47.3
総数	2,939	▲ 4.1	83,704	15.3

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

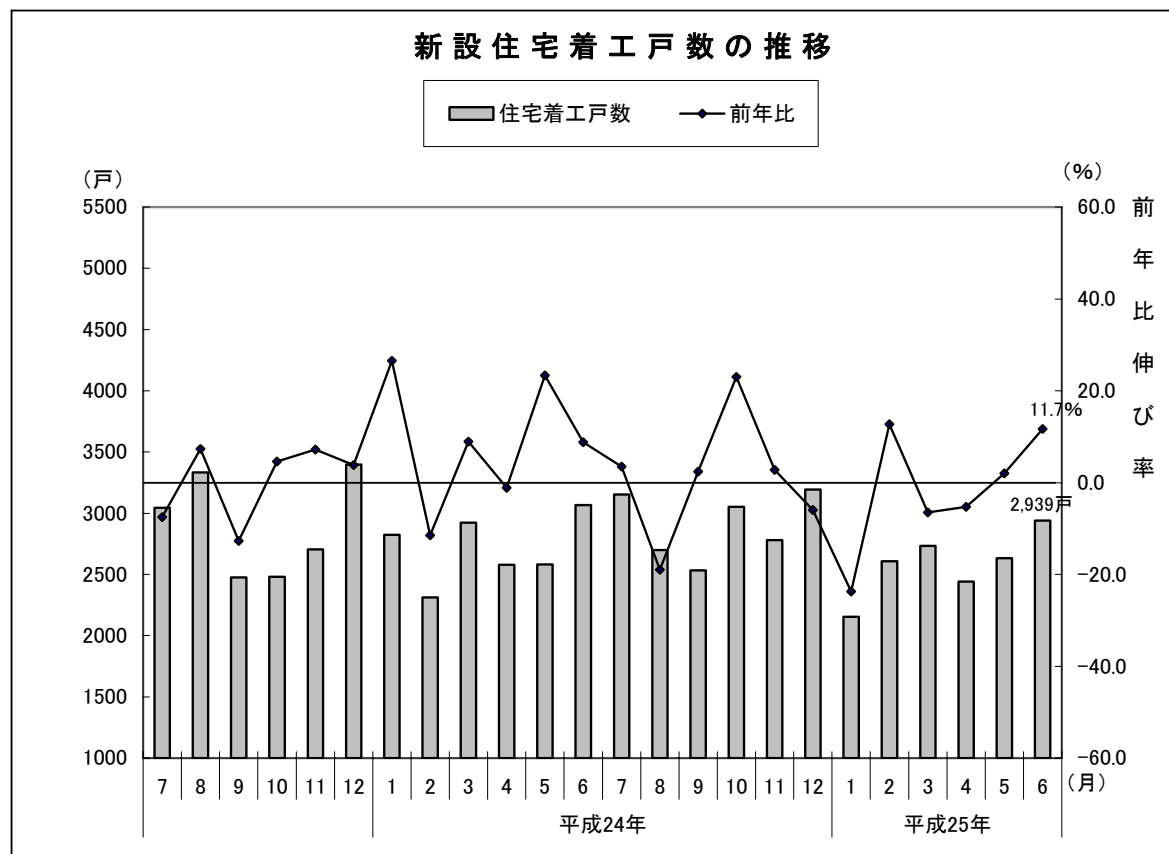
6月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	787	658	273	363	95	417	156	86	49	55	2,939
前月比	-62	96	17	65	-23	66	68	37	12	31	307

資料：兵庫県住宅計画課

平成25年6月の新設住宅着工累計は、総数で2,939戸、前年同期比307戸の増加となった。利用関係別では「持家」が953戸(前年同期比6.6%増)、「分譲住宅」が953戸(同3.0%増)、「貸家」が940戸(同16.4%減)、「給与住宅」が18戸(同65.4%増)となった。



【公共工事】

7月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は562件で前年同月比34.4%の増加、請負金額は339億円で同56.1%の増加となり、金額ベースでは3か月連続前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「国」が前年同月比530.1%、「独立行政法人等」同146.4%、「その他団体」同62.6%、「兵庫県」が同56.9%、「神戸市を除く市町」同20.1%が増加となり、前年同月を上回った。

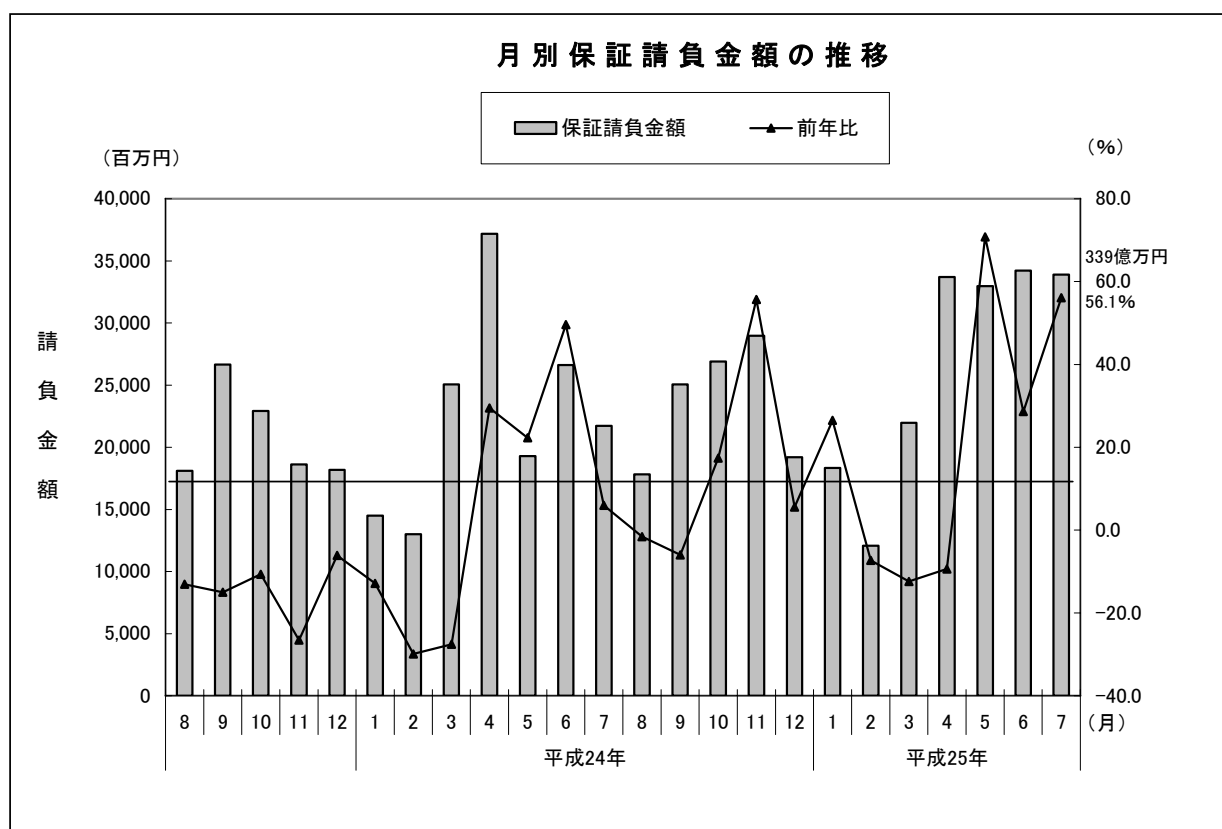
地域別(金額ベース)では、但馬(同21.8%)、神戸市(同20.9%)、阪神南(同12.5%)、西播磨(同11.0%)、北播磨(同8.3%)、中播磨(同8.2%)、東播磨(同7.2%)、阪神北(同4.3%)、淡路(同3.0%)、丹波(同2.8%)、で増加となった。

7月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	47(487.5)	6,479(530.1)	
独立行政法人等	13(62.5)	1,140(146.4)	
兵庫県	167(11.3)	9,673(56.9)	徳久バイパス徳久トンネル工事 浜坂道路進桃観トンネル(西工区)工事
神戸市	68(74.4)	2,892(▲ 7.5)	神戸港ポートアイランド(第2期)地区荷さばき改良工事
神戸市を除く市町	235(21.8)	11,498(20.1)	水堂小学校南棟改築等工事 瀬戸第3号雨水幹線(戊ノ方谷工区)布設工事 香美町防災行政無線デジタル化整備工事
その他の団体	32(60.0)	2,216(62.6)	坂越水源地高度浄水施設整備工事
合計	562(34.4)	33,900(56.1)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成25年6月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,016億円、前年同月比8.4%の増加で、総額ベースで5か月連続増額となった。輸出は、重電機械などが減少したものの、プラスチックなどが増加した。一方、輸入は、非鉄金属などが減少したものの、半導体等電子部品などが増加した。

輸出は4,378億円(前年同月比3.5%増)と5か月連続で増加した。

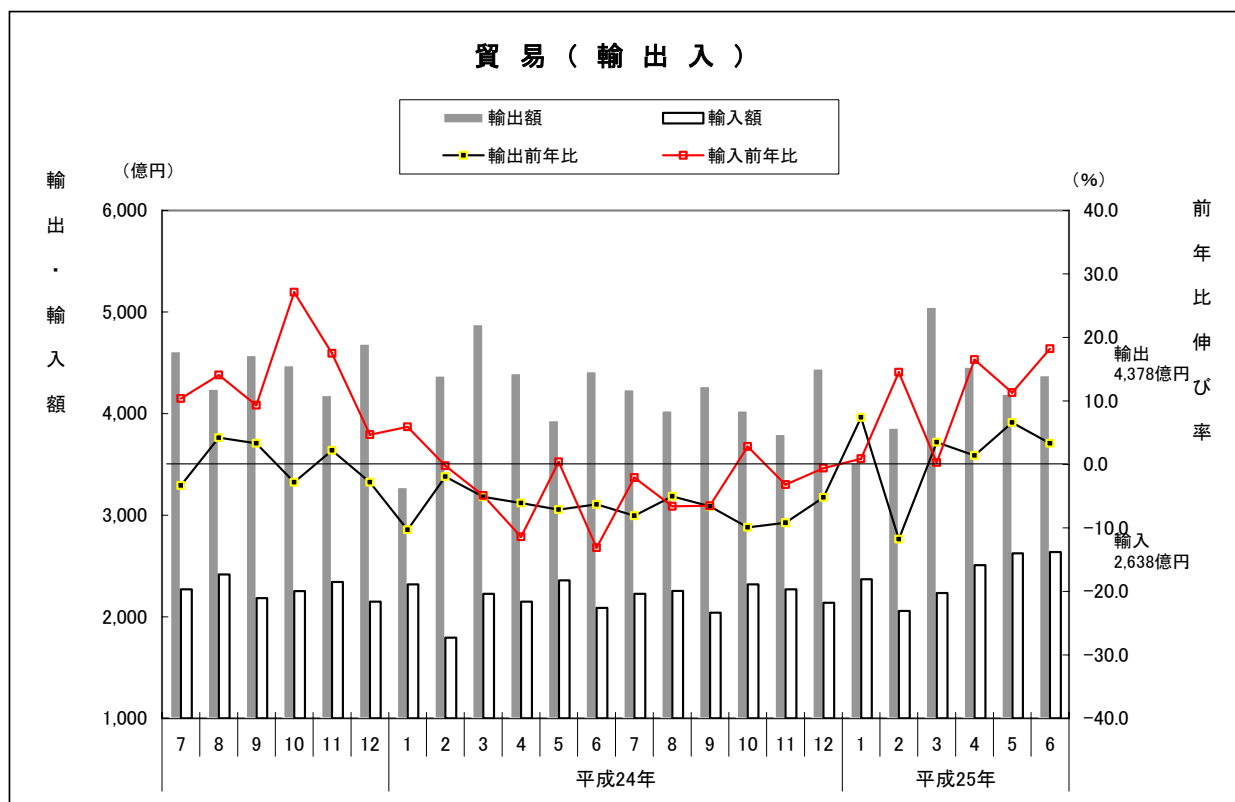
主要品目では、織物用糸及び繊維製品(前年同月比10.5%増、5か月連続プラス)、原動機(同3.9%増、3か月ぶりにプラス)、プラスチック(同22.0%増、7か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同8.7%増、5ヶ月連続プラス)が増加した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比16.8%増、13か月連続プラス)、EU(同8.4%増、2か月連続プラス)、中国(同3.3%増、2か月ぶりにプラス)、アジア(中国含む)(同1.4%増、2か月ぶりにプラス)が増加した。

輸入は2,638億円(前年同月比18.2%増)と7か月連続で増加した。

主要品目では、衣類および同付属品(前年同月比18.0%増、4か月連続プラス)、たばこ(同3.9%減、3か月連続マイナス)、非鉄金属(同25.0%減、3か月連続マイナス)、有機化合物(同23.7%増、4か月連続プラス)が増加し、非鉄金属(同25.0%減)、鉱物性燃料(同16.7%減)、魚介類及び同調製品(同15.5%減)減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比15.9%増、8か月連続プラス)、米国(同21.4%増、4か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同21.3%増、4か月連続プラス)、中国(同22.5%増、4か月連続プラス)が増加した。



【物 価】『消費者物価』

7月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.2(平成22年=100)となり、前月比は0.2%上昇、前年同月比は0.6%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は100.3となり、前月比は0.1%上昇、前年同月比は0.6%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.3となり、前月比は変わらず、前年同月比は0.1%下落となった。

前月からの動きを見ると、衣料などの値下がりにより「被服及び履物」が1.9%、家賃などの値下がりにより「住居」が0.3%、家庭用耐久財などの値下がりにより「家具・家事用品」が0.5%それぞれ下落した。

しかしながら、教育娯楽サービスなどの値上がりにより「教育娯楽」が1.3%、野菜・海藻などの値上がりにより「食料」が0.3%、交通などの値上がりにより「交通・通信」が0.6%、電気代などの値上がりにより「光熱・水道」が0.9%、身の回り用品の値上がりにより「諸雑費」が0.2%それぞれ上昇した結果、総合では0.2%の上昇となった。

7月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	100.2	97.8	101.5	115.0	96.2	99.4	97.6	100.4	101.0	95.2	103.2	100.3	99.3
前月比	0.2	0.3	-0.3	0.9	-0.5	-1.9	0.0	0.6	0.0	1.3	0.2	0.1	0.0
前年同月比	0.6	-0.6	-0.4	8.7	-0.7	1.0	-0.7	1.9	0.8	-1.0	0.7	0.6	-0.1

(注)平成22年=100

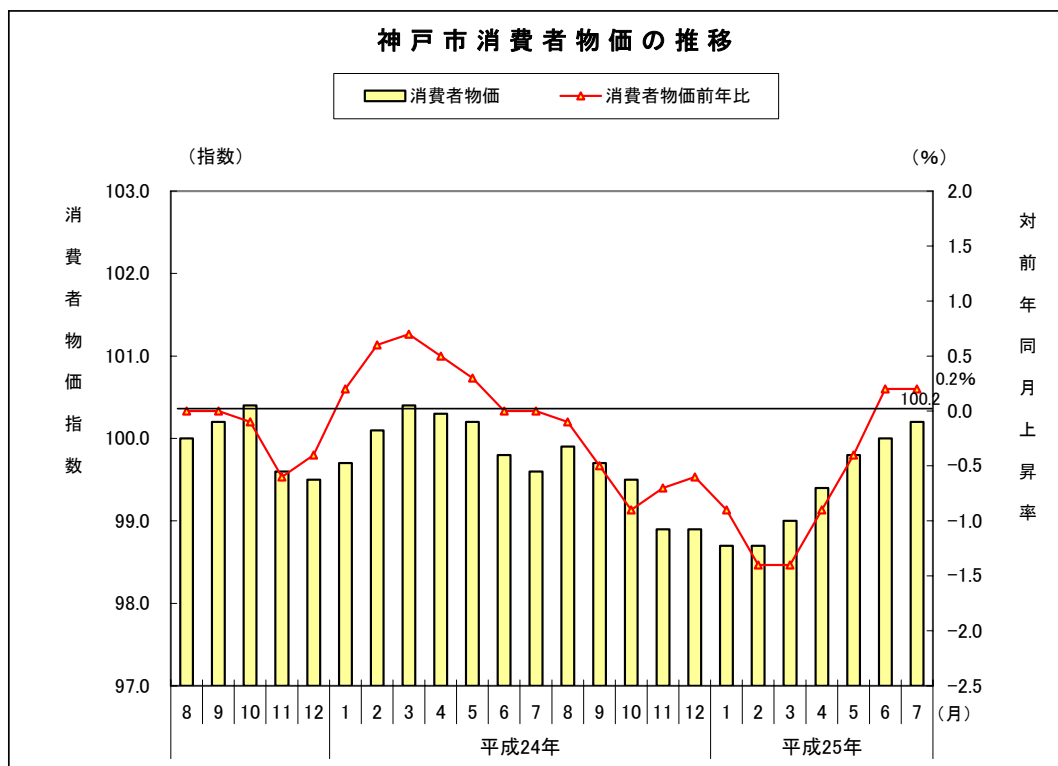
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

- 教育娯楽サービス (+ 1.8%)・・・国パック旅国、宿泊料
- 野菜・海藻 (+ 10.1%)・・・トマト・レタス・キャベツ

○対前月比値下がりした主な品目

- 衣料 (▲ 2.5%)・・・女子スカート、婦人スーツ(春夏物・中級品)
- 家賃 (▲ 0.3%)・・・民営家賃、公営家賃



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が8月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2013年7月の企業物価指数は次のとおり。

7月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	102.1	0.5	2.2
輸 出 物 価	99.1	1.2	14.3
輸 入 物 価	111.6	1.2	18.5

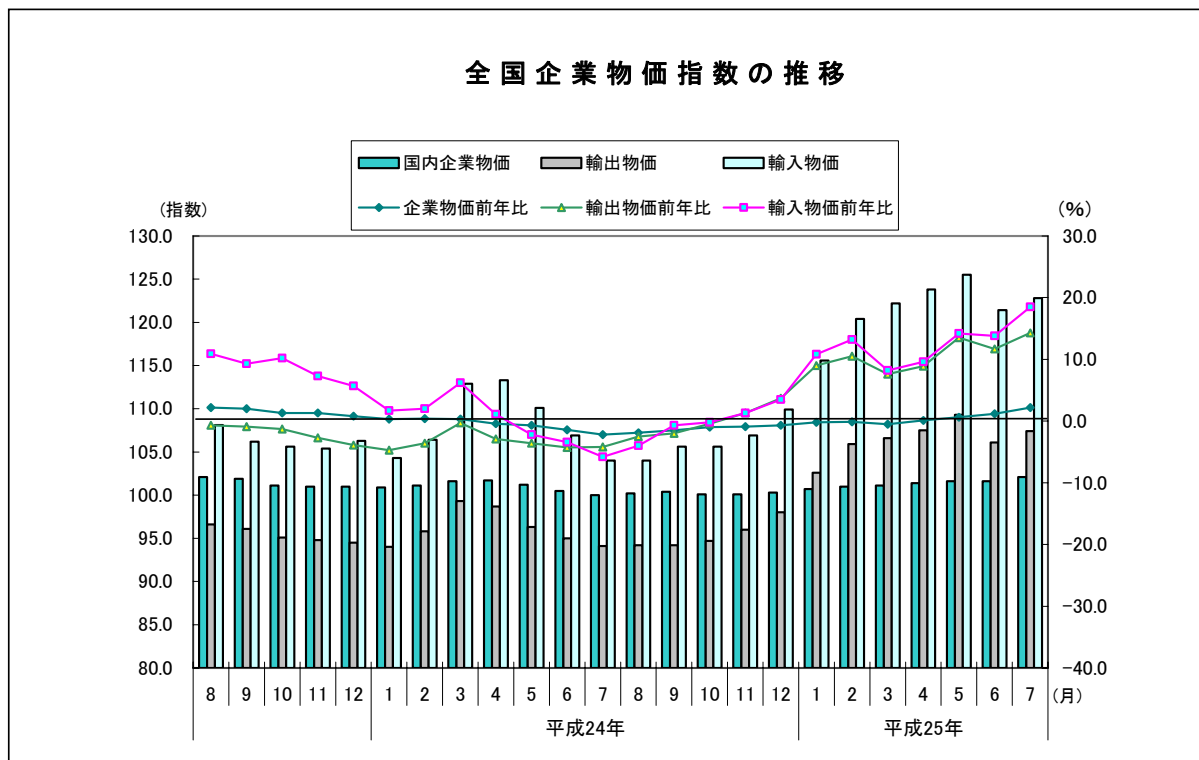
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、非鉄金属(同▲0.7%<銅地金など>)等が下落したが、電力・都市ガス・水道(同+5.1%<業務用高圧電力など>)、石油・石炭製品(前月比+2.1%<ガソリン、軽油など>)、鉄鋼(同+0.3%<熔融亜鉛めっき鋼板など>)等が上昇し、全体では前月比0.5%の上昇となった。

小売店への出荷価格などを示す「最終財」の上昇率は3.3%と、32年4か月ぶりの高い伸びを記録した。

輸出物価は、輸送用機器(前月比+1.0%<船外機など>)、電気・電子機器(同+0.12%<モス型メモリ集積回路など>)、化学製品(同+2.1%<塩化ビニルモノマーなど>)、金属・同製品(前月比+1.0%<金地金、銅地金など>)等が上昇し、円ベースでは前月比1.2%の上昇(前年同月比+14.3%)となった。

輸入物価は、金属・同製品(同▲1.7%<鉄鉱石、銅鉱など>)等が下落したが、食料品・飼料(前月比+0.9%<とうもろこし、大豆など>)、化学製品(同+0.6%<酸化チタンなど>)、電気・電子機器(同+1.5%<モス型ロジック集積回路など>)、石油・石炭・天然ガス(同+1.8%<原料炭など>)等が上昇し、円ベースでは前月比1.2%の上昇(前年同月比+18.5%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内6月の新規求人数(全数)は、24,717人(前年同月比3.4%減)で、3か月ぶりに前年を下回った。また、月間有効求人数(全数)は69,026人(前年同月比4.4%増)で38か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比3.4%増で2か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同1.2%減で19か月ぶりに前年を下回った。また臨時・季節では同22.0%減で2か月ぶりに前年を下回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、卸売業、小売業(前年同月比11.5%増)は、前年を上回ったが、建設業(同8.3%減)、製造業(同2.9%減)、情報通信業(同22.9%減)、運輸業、郵便業(同17.9%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同17.3%減)、宿泊業、飲食サービス業(同4.9%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同10.2%減)、医療、福祉(同0.1%減)、サービス業(同10.2%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

6月の新規求職申込件数(全数)は、20,728件(前年同月比5.0%減)で、2か月連続して前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は102,568人(前年同月比4.9%減)で37か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比6.2%減で2か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同5.0%減で2か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比29.2%増で2か月連続して前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比2.1%減で10ヶ月ぶり、事業主都合離職者は同12.0%減で5か月連続、自己都合離職者は同1.3%減で2か月連続、自営・他は同26.4%減で25か月連続、無業者は同14.1%減で18か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、25,686人(前年同月比8.1%減)で、5か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

6月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.21倍で前月を上回り、有効求人倍率については0.76倍で前月から上昇となった。

(4) 失業者の状況

6月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.9%、完全失業者数(原数値)は260万人(前年同月比28万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.1%(前年同月比0.6ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は43万人(前年同月比5万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
25年6月	24,717	1,837	2,727	296	1,359	4,284	162	440	654	1,850	824	6,347	3,064
前年同月比	▲3.4	▲8.3	▲2.9	▲22.9	▲17.9	11.5	▲31.1	4.5	▲17.3	▲4.9	▲10.2	▲0.1	▲10.2

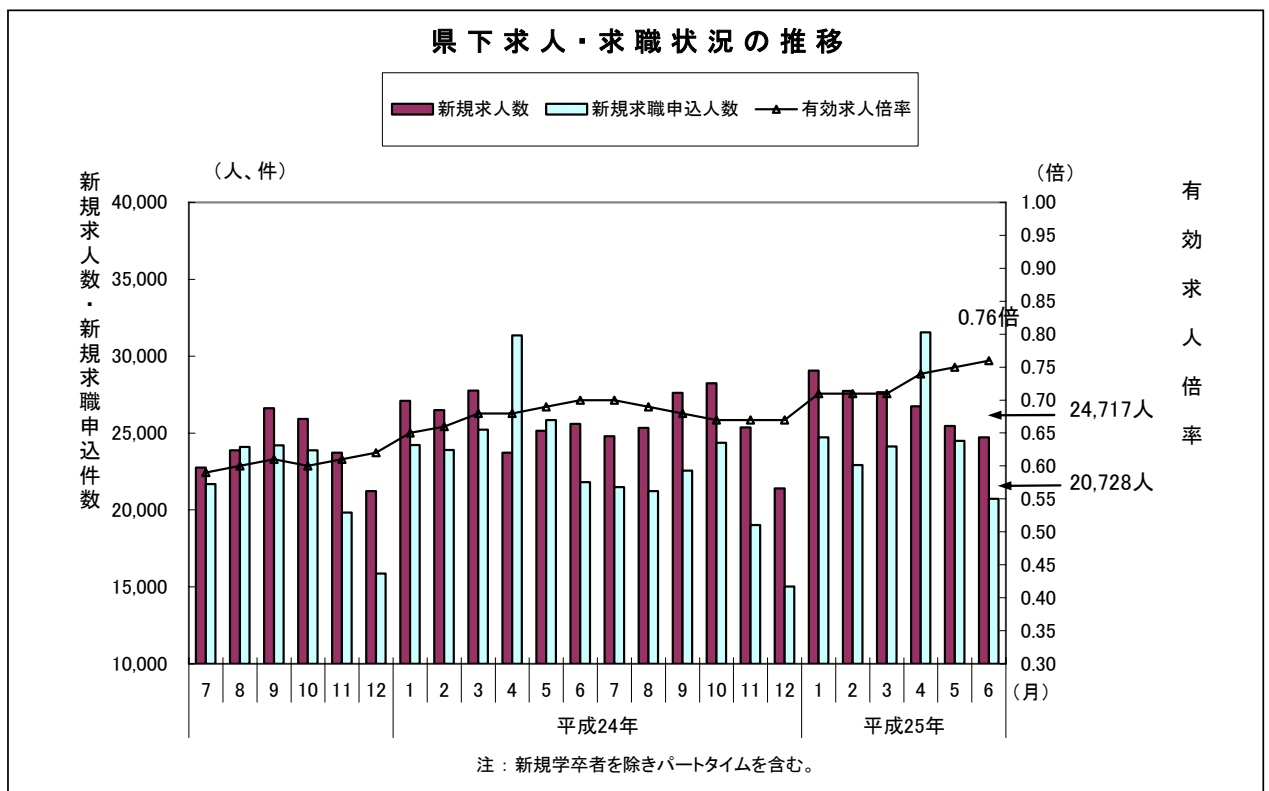
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇用・賃金の推移

項目・年月	12/7-9	12/10-12	13/1-3	13/4-6	13/4	13/5	13/6
有効求人倍率 (季調済、倍)	0.69	0.68	0.71	0.75	0.74	0.75	0.76
新規求人数 (原数値、前年比%)	6.1	5.9	3.8	3.3	12.7	1.2	▲3.4
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	▲3.6	▲6.0	▲4.0	-	▲3.9	▲3.1	▲1.0
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	▲0.6	▲0.6	▲1.1	-	▲0.7	▲0.1	0.0
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	2.5	0.0	0.1	-	0.4	1.2	0.9

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

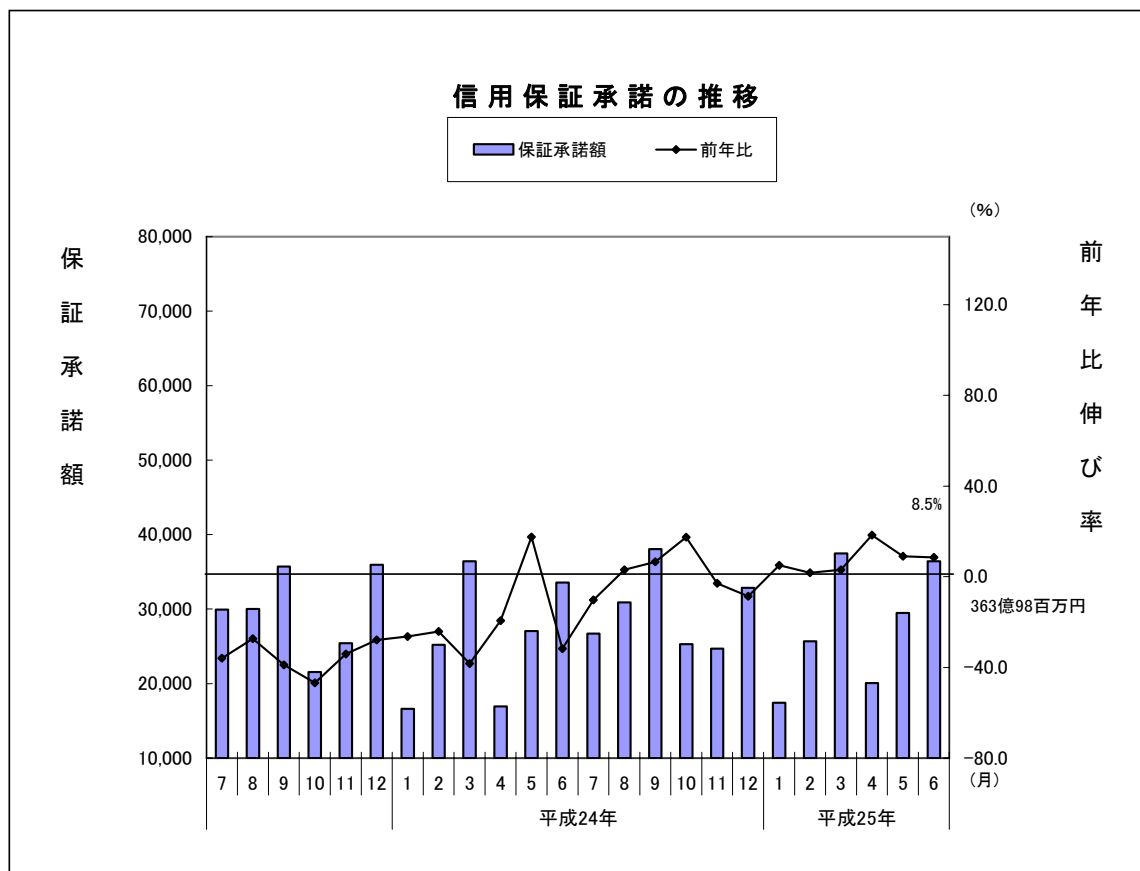
兵庫県信用保証協会による6月の保証承諾実績は、件数で2,002件(前年同月比2.4%減)、金額は363億98百万円(同8.5%増)となり、金額は前年実績を上回った。

資金使途別では、運転資金34,277百万円(前年同月比9.4%増)、設備資金591百万円(同0.6%増)となり、運転資金、設備資金ともに前年同月を上回った。

業種別(金額ベース)では、「運送・倉庫業」2,788百万円(前年同月比26.3%増)、「飲食店」781百万円(同20.5%増)、「卸売業」7,571百万円(同18.3%増)、「小売業」4,152百万円(同14.8%増)、「サービス業」4,319百万円(同9.5%増)、「製造業」6,519百万円(同6.8%増)、「建設業」9,164百万円(同4.5%増)で前年同月を上回り、「不動産業」994百万円(前年同月比38.1%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、251件(前年同月比110.1%増)、26億61百万円(同4.1%増)となった。

6月末の保証債務残高は、105,164件(前年同月比6.5%減)、1兆2,035億円(同8.6%減)となった。



【金 融】

6月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都 市 銀 行 等	147,585	3.1	54,937	▲ 1.1
地 方 銀 行	25,205	3.3	21,178	5.5
第 二 地 方 銀 行	32,469	2.7	20,397	3.3
信 用 金 庫	80,495	1.0	37,518	▲ 1.4
そ の 他	17,685	2.7	17,490	1.7
計	303,439	2.5	151,520	0.6

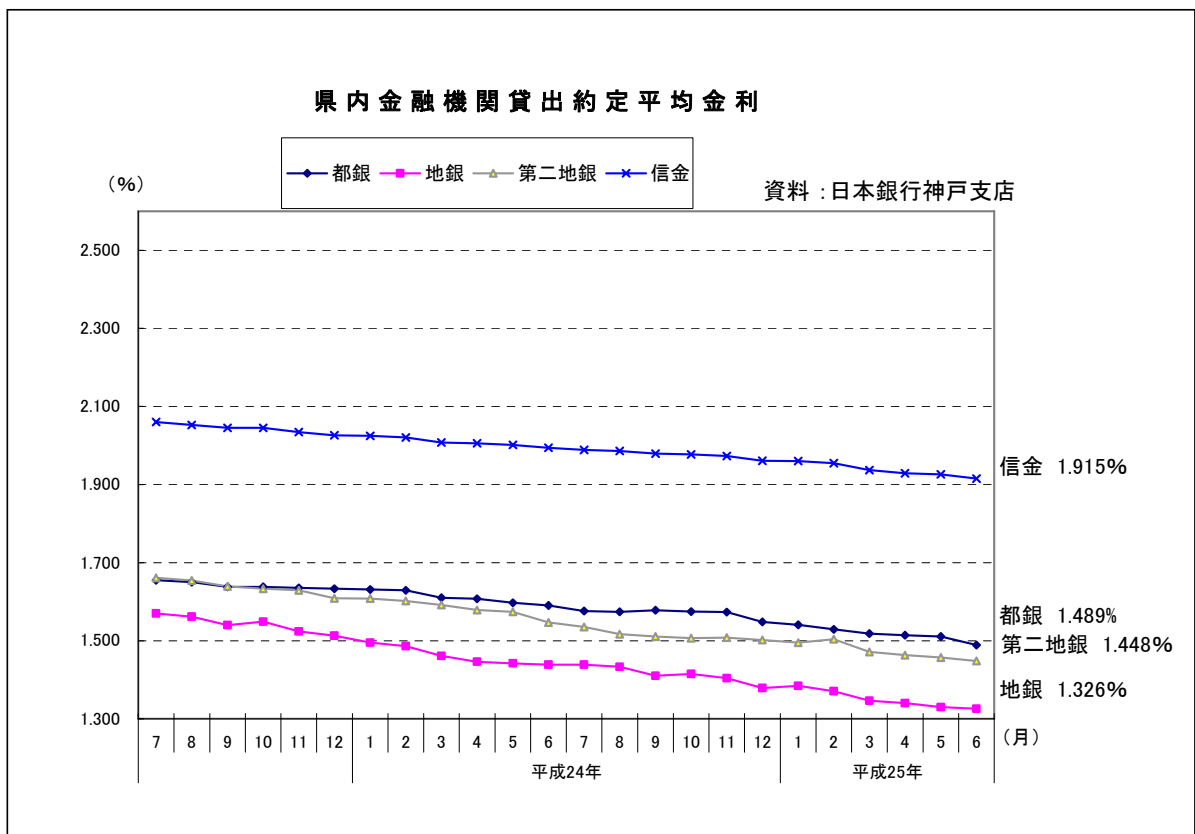
・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

6月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+2.5%)

6月の貸出は、前年並みの水準で推移している。(前年比+0.6%)

6月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(4月末水準1.606%、前月比▲0.014%ポイント)。



【倒産】

県内7月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は38件で前年同月比38.7%の減少、負債総額は58億74百万円で同57.5%の減少となった。

倒産件数は、2か月連続で増加となり、件数は前月比4件の増加となったが、前月に引続き2か月連続で40件を下回った。30件台が連続するのは、平成8年7月以来17年ぶり。負債総額は10億円以上の大型倒産はなく、7月単月では過去10年間では最小となった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が27件(全体の71.1%)を占めた。

業種別(件数)では、「サービス業他」が10件(前年前月比7件減少)でトップであった。

「資本金別」では、「1千万円未満(個人企業含)」の件数が23件で、当月も小規模事業者の倒産が特徴的であった。

「産業別」では、「サービス業他」が10件でトップ、「建設業」が8件と続いて多い。

県下の企業倒産は、7月度の件数が2か月連続で40件台を下回り、30件台が連続するのは、平成8年7月以来の17年ぶり。本年1月から7月までの累計では310件。これは昨年と比較して54件の減少となっており、企業倒産は鎮静状態が続いている。中小零細企業などの倒産抑制に大きな効果を発揮した「中小企業金融円滑化法」は、3月をもって終了したが、円滑化法終了後も今のところ企業倒産動向に注目すべき変化はない。その背景には金融機関への監督官庁からの指導や、事業再生を柱とする中小企業施策等の効果もあるとみられる。

当面、中小企業倒産は一進一退の推移が見込まれるが、今後は金融機関の中小企業への取引姿勢には温度差が生じることも予想され、先送りした企業の淘汰等、秋口以降の動向が注目される。

7月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	7	4	3	4	3	建設業	8	6	2	8	0
過小資本	1	0	1	1	0	製造業	4	7	-3	11	-7
連鎖倒産	3	0	3	1	2	卸売業	6	5	1	5	1
赤字累積	3	5	-2	3	0	小売業	6	5	1	10	-4
販売不振	23	23	0	52	-29	情報通信業	1	3	-2	1	0
売掛金回収難	1	0	1	0	1	サービス業	10	8	2	17	-7
その他	0	2	-2	1	-1	不動産・運輸業他	3	0	3	10	-7
合計	38	34	4	62	-24	合計	38	34	4	62	-24

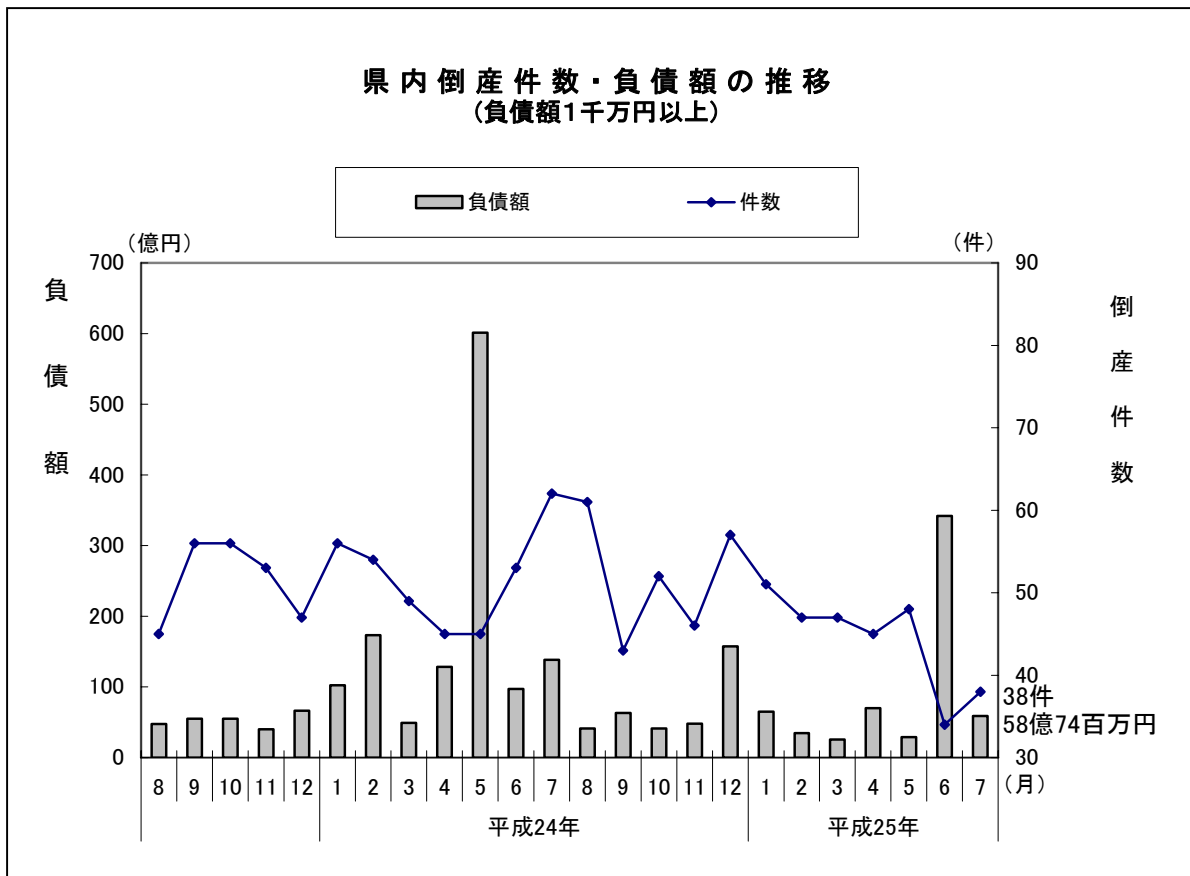
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位：件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 平均	51.9	16.0	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3
25年 4月	45	13	18	5	7	0	0	2
25年 5月	48	19	20	2	3	2	1	1
25年 6月	34	9	9	6	9	1	0	0
25年 7月	38	17	7	7	4	2	0	1

資料：東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
24年 1月	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
6月	94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
7月	95.7	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
8月	91.6	-4.4	90.2	-1.6	178	-1.6	19.2	2,699	-19.0	-5.5
9月	93.6	1.6	86.5	-4.1	251	-6.0	-1.9	2,534	2.4	15.5
10月	86.7	-7.5	87.9	1.6	269	17.4	28.2	3,051	23.0	25.2
11月	84.5	-2.4	86.4	-1.7	290	55.7	6.2	2,780	2.8	10.3
12月	88.3	4.4	88.8	2.4	192	5.6	15.6	3,193	-6.0	10.0
25年 1月	88.6	0.3	89.1	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
2月	87.3	-1.3	89.6	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
3月	r 90.5	3.2	90.4	0.9	219	-12.4	-11.7	2,732	-6.5	7.3
4月	p 89.8	-0.8	91.9	1.7	336	-9.4	128.6	2,443	-5.3	5.8
5月	p 88.3	-0.9	97.7	1.9	329	70.8	24.8	2,632	2.0	14.5
6月	p 89.2	1.1	94.7	-3.1	342	28.6	21.7	2,939	11.7	15.3
7月					339	56.1	29.4			
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
24年 1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	4,418	-6.3	2,088	-13.1
7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	4,239	-8.1	2,227	-2.1
8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6	-0.8	4,032	-5.0	2,256	-6.6
9月	15,226	-4.2	-3.7	147	2.1	-0.0	4,271	-6.6	2,041	-6.5
10月	11,441	-6.3	-6.7	169	0.2	-2.2	4,032	-9.9	2,318	2.8
11月	12,576	-3.9	0.2	185	4.2	2.5	3,800	-9.2	2,271	-3.2
12月	11,342	-2.3	-2.0	258	0.3	-1.0	4,444	-5.2	2,137	-0.6
25年 1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	0.3	3,522	7.4	2,372	0.9
2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9	0.7	3,861	-11.7	2,058	14.6
3月	21,468	-13.9	-11.0	176	3.5	4.0	5,051	3.5	2,235	0.3
4月	11,979	2.1	0.7	160	-2.9	-0.4	r 4,459	1.4	r 2,508	16.5
5月	12,231	-5.0	-8.7	157	-4.5	2.8	p 4,193	6.6	p 2,626	11.3
6月	15,343	-9.2	-12.5	165	1.1	7.5	p 4,378	3.3	p 2,638	18.2
7月	15,195	-7.3	-9.7	155	-7.8					
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
24年 1月	0.65	0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	99.6	0.0	99.3	-0.4
8月	0.69	0.83	1,051	3.9	99.6	0.1	99.9	-0.1	99.4	-0.4
9月	0.68	0.81	1,052	4.4	99.3	-0.5	99.7	-0.5	99.6	-0.3
10月	0.67	0.80	1,047	4.2	99.3	-0.6	99.5	-0.9	99.6	-0.4
11月	0.67	0.80	1,048	4.0	99.8	-1.6	98.9	-0.7	99.2	-0.2
12月	0.67	0.82	1,048	4.0	100.4	0.5	98.9	-0.6	99.3	-0.1
25年 1月	0.71	0.85	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	98.7	-1.4	99.2	-0.7
3月	0.71	0.86	1,032	-0.2	100.5	0.4	99.1	-1.3	99.4	-0.9
4月	0.74	0.89	1,043	-0.9	101.6	1.1	r 99.3	-1.0	99.7	-0.7
5月	0.76	0.92	1,047	-0.3	100.7	1.9	p 99.8	-0.4	99.8	-0.3
6月			1,051	0.0	101.1	0.9	100.0	0.1	99.8	0.2
7月							100.2	0.6		
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.4	-0.7	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.0	-0.9	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.4	-1.5	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	99.9	-2.3	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	100.1	-2.0	150,189	0.3	1.401	61	41	22	22	17
9月	100.4	-1.5	151,823	0.8	1.385	43	63	15	14	14
10月	100.0	-1.1	149,833	0.1	1.383	52	41	22	11	19
11月	99.9	-1.1	150,053	0.0	1.378	46	48	12	17	17
12月	100.3	-0.7	151,415	-0.1	1.364	57	157	11	19	27
25年 1月	100.5	-0.4	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	101.1	-0.5	152,787	0.4	1.325	47	25	16	15	16
4月	r 101.5	0.1	150,606	0.2	1.321	45	69	13	18	14
5月	p 101.6	0.6	150,286	0.0	1.319	48	29	19	20	9
6月	p 101.6	1.2	151,520	0.6	1.303	34	341	9	9	16
7月	p 102.1	2.2				38	58	17	7	14
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値